

しあわせの村 30 周年記念事業

知ってる？「しあわせの村のいきものたちのこと」 ーいきもの展示ー開催される

しあわせの村には、多くの「いきもの」たちが暮らしています。

しあわせの村一帯の生物多様性を保全し、より多様な生き物が住める環境づくりをめざして、KSC 学生、卒業生、講師等からなる「しあわせの村いきもの会議」というグループが調査活動、観察会を約 3 年前から実施しています。

近年はアカミミガメやオオキンケイギクなどの外来動植物の影響、シカ、イノシシの被害も心配されています。グループでは、花実の森、野鳥と自然観察会、アイディアエイト、川づくり研究会、等多くの会員がかかわっています。

今回開村 30 周年記念事業の一環として、その実態を知っていただくために、「しあわせの村いきもの会議」主催による、いきもの標本展示（7/30~8/2）が、しあわせの村研修館で、同、廊下でパネル展示（7/20~8/31）が行われました。

主に標本（昆虫・植物）水そう（魚・アカミミガメ等）昆虫生体（カブトムシ等）動物のはく製（シカ・アライグマ等）野鳥の巣や巣箱などが展示されました



